

基本目標②：福祉・生活

施策4：地域福祉の推進

施策目標

すべての人が地域の一員として、ともに生き、ともに支え合い、安心して暮らしています。

現状・課題

少子高齢化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化等の中で孤立し、生活に困難があっても相談できずに課題が深刻化するケースが増加しています。また、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化しており、分野別の対応では解決が困難な課題が増加しています。さらに、自然災害や感染症の拡大による影響等、本人の責によらない生活のしづらさが、いつわが身に降りかかるともわからない時代になっています。

福祉は他人事ではなく身近な「我が事」であり、特別な人のためではなくすべての人の幸せのためであるという認識を持ち、「おたがいさま」の気持ちで地域づくりに取り組むことが重要です。また、支援を必要とする人に支援がきちんと届くためには、異変を察知した場合に声をかけあえるような地域での関係づくりや、相談にきちんと対応できる体制整備が重要です。

野洲市では、分野を超えた包括的な相談支援体制を整備していますが、今後は市民が相談しやすい身近な相談拠点を整備していく必要があります。相談拠点をベースに、支援を提供する側、される側に分かれるのではなく、すべての人に役割があり社会参加できるような地域づくりを進めます。

第3期野洲市地域福祉計画の策定において検討中のイメージ図を挿入

取組方針

主な取組

① 市民の主体的な地域福祉活動の推進
安全で安心して暮らせる地域づくりや地域の中の生きがい（役割）づくり（相互に認め合う関係づくり）を進めます。

世代間交流の推進、地域住民・ボランティア団体等の社会福祉活動への支援、等

② 地域と連携した福祉活動の推進
市民の身近なところに設置した相談拠点をベースに、交流の拠点づくりや市民・自治会・事業者・行政等の連携や協働を進めます。

市民・自治会・事業者・行政のネットワークづくり、地域住民が集う拠点の整備、社会福祉協議会との連携強化 等

指標

関連する主な市の計画

指標	現状値	目標値 (5年後)
第3期野洲市地域福祉計画の策定において検討中の指標を挿入		

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)

- 野洲市地域福祉計画
- 野洲市子ども・子育て支援事業計画
- 野洲市障がい者基本計画
- 野洲市障がい福祉計画・野洲市障がい児福祉計画
- 野洲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- いのち支える野洲市自殺対策計画
- 野洲市ほほえみやす 21 健康プラン
- 地域防災計画